

# 「動物たちのおしゃべり」

作／山崎陽子 作曲／中邑由美

チェコの童画家ミルコ・ハナアクの動物たちは、一見無愛想で気難しく見えますが、じっと眺めていると実に饒舌です。彼等のおしゃべりに耳を傾け、そのまま書きとめたこの本は、子供から大人にまで愛され、音楽家は作曲し、俳優は朗読を、歌手は歌ってみたいくなる不思議な本として数々の舞台を飾ってきました。

それが絶版になり十年、復刊を望む声が高まりましたが、チェコとの連絡がとれず諦めかけていた時、藤原書店のお力添えで、ようやく夢が叶いました。

演者が選んだ動物たちを、ナレーションでつないで構成するので、幾通りもの作品が生まれてきました。

今回は、朗読ミュージカルの名手、森田克子さんが中邑由美氏の曲にのせて歌います。お楽しみ頂ければ幸いです。

作／山崎陽子 作曲／片野真吾

満開の桜の下、墓所に向かう姑と嫁。傍目には仲睦まじい二人だが、それぞれの心の中は……

13年前、故五世野村万之丞氏の依頼で書いた、最初で最後の“女狂言”を、昨年、朗読ミュージカルとして上演し、好評を博しました。

この『動物たちのおしゃべり』復刊記念公演に、朗読ミュージカル最新作「春うらら」を再演できることを嬉しく思います。

作・演出

## 山崎陽子



童話作家、ミュージカル脚本家。立教女学院卒業後、宝塚歌劇団を経て結婚。絵本、作詞、エッセイ、講演など多彩な活躍。1975年から一人ミュージカル、1990年から独自の舞台「朗読ミュージカル」を現在まで60作以上発表。「山崎陽子の世界IV」は平成13年度文化庁芸術祭大賞を受賞。故遠藤周作主宰の素人劇団「樹座」で20年間、脚本を担当。遠藤氏との共訳『ノーム』をはじめ、絶版になっていた詩画集『動物たちのおしゃべり』、絵本『水たまりの王子さま』が相次いで復刊されている。

## 《好評関連書》

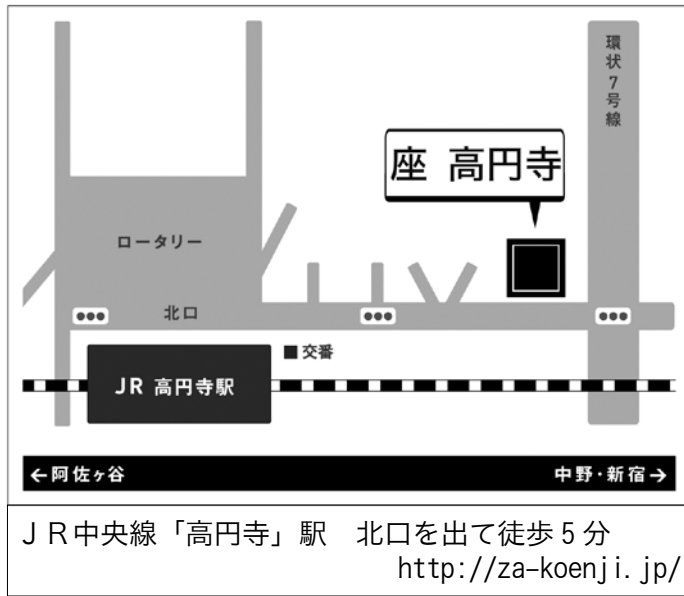


人間はじめすべての生き物を、一つの生命が持つDNAの総体「ゲノム」から読み解く「生命誌」を提唱した生物学者、中村桂子ほか、分野を異にする三人のハーモニー。  
定価 本体一八〇〇円＋税

中村桂子・山崎陽子 文 堀文字 画

▼バクテリアも人間も、たった一つの細胞から。  
**いのち愛づる姫**  
（ものみな一つの細胞から）

▼世代をこえて愛されたロングセラー、復刊。  
**動物たちのおしゃべり**  
山崎陽子 文 ミルコ・ハナアク 画  
耳をすませば聞こえてくる、動物たちのおしゃべり。チェコを代表する絵本作家ミルコ・ハナアクの独特な動物画に、山崎陽子の珠玉の文章の、みごとなハーモニー。  
定価 本体一六〇〇円＋税



JR中央線「高円寺」駅 北口を出て徒歩5分  
<http://za-koenji.jp/>

●お申込み、お問合せは、 藤原書店 FAX 03-5272-0450 TEL 03-5272-0301  
オフィス・ディーバ FAX 03-6429-3561 TEL 03-6429-3560

■ 10月20日（火）午後3時 （ ） 枚

■ お名前

■ ご住所 〒

■ お電話番号 ( )